



プロジェクト名称

International Communication Project

プロジェクト活動概要

ICPとは ABOUT ICP

私たちICPはこれまで芝浦工業大学のグローバル化を学生の視点で考え、様々な活動を行ってきました。プロジェクト発足から5年目となりましたが、これからも私たちの活動に関わるすべての人々が“Happy”になれるように頑張っていきます。

ICP has ever been acting variously to be globalization of Shibaura Institute of Technology in view of the students. Four years has passed since our project is established, but we will work hard to make the people who join our events “happy”.



活動目的 Our activities purpose

芝浦工業大学には様々な国々から留学生が来ています。各国の留学生の持っている文化や情報をシェアし、その国について知り、理解すること、そして同様に留学生が日本についてもっと知ってもらえるようにすることが第一の目的です。また、留学生のキャンパスライフをより充実させるためのサポートも行っています。私たちの活動を通じて留学生だけでなく、私たち自身もグローバルな人材として成長していけるような団体を目指しています。昨年度は大学外での活動に力を入れることによって活動の視野を広げることができました。その視野をもって今年度は大学内での活動に力を入れ、1人でも多くの学生が大学内で国際交流できるように努めていきます。

Shibaura Institute of Technology has a lot of international students from many countries. Thus, our first aim is to exchange stories, experiences and cultural understandings to know more about each other's country. At the same time, we also aim to provide them a better experiential quality to their gain upon their stay. By doing so, we ICP, wish to mature to become more international ourselves. Last year we could broaden our view of activities by emphasizing outside activities from the university. Therefore, we will utilize this view for activities in the university this year. We will make an effort to let many students talk with international students.



まとめ summary

この活動をきっかけにして、様々な友達ができるといいと思います。例えばICPには旅行や海外に興味がある人が多く集まっていて、訪問先で得た情報を直接共有できます。それは外から日本に来ている留学生にとっても同じです。たくさんを知りたいと思います。受け入れ場所としての「芝浦」は、“情報を伝える”という意味においてきちんと役割を果たしているのでしょうか？私達はこれらの問題を解決し、誰にとっても優しく、よい環境が備わっている大学をつくらうとしています。

We wish ICP can help you to make good friends and spend precious time at SIT. For example, there are many Japanese students who are very curious about overseas trips and foreign countries. ICP is a great organization for them to exchange valuable information. The same could be said for international students. SIT should undertake a role to give them more useful information. We try to make our school a very helpful and a great place.

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2015年1月1日～3月31日

【MJIIT 学生招聘プログラムのお手伝い 1月21日～1月23日】

大学のプログラムであるマレーシアの MJIIT の学生を日本に招待するというので、ICP はそのお手伝いをさせていただきました。このプログラムは、MJIIT の3年生との間で行った夏の gPBL への答礼として行ったもので、ICP はその中で、科学未来館見学の案内、大宮キャンパスの案内（国際学生寮を含む）や東京観光の付き添いとして同行しました。学生全員が日本に初めて来たということで、マレーシアとの文化の違いに驚いている様子でした。短い滞在期間ではあったものの、充実していたようで、こちらも案内をしていて嬉しく思いました。





【Farewell Party 2月7日】

母国に帰国してしまう留学生達の Farewell Party を行いました。日本での留学生生活を振り返る動画をみんなで見て、かけがえのない日々を送れたことを実感しました。ICP という活動を通して日本人と留学生の絆が更に深まった一年でした。言葉のわからない国でこんなに楽しんで仲間を作った留学生。母国に帰っても、日本の仲間を忘れずにいろんなことに挑戦してもらいたいです。



【スキー旅行 2月17日～2月19日】

雪を見たことのない留学生とスポーツを通して、深い交流関係を築くためにスキー旅行に行きました。セミナーハウスに宿泊し、スキー&スノーボードを行いました。あたり一面雪景色で、初めて雪を見る留学生はもちろん、日本人学生も興奮していました。留学生にスキーやスノーボードの滑り方を教えることで、広い交流関係が築け、滑りたいという気持ちから強い団結力が生まれました。最初は上手く滑れなかった留学生も、持ち前の運動神経を発揮し、3日目には上級者コースを滑っている学生もいました。

【グローバルデイ企画への参加 3月16日】

5月7日に開催する「SIT グローバルデイ 2015」の会議に参加させていただきました。本企画の主旨は、学生がよりグローバルな視点を持てるきっかけ作りを目的としています。ICPの学生として“留学の体験談”“留学生との交流”のブースの企画立案に参加させていただくことになりました。

たくさんの学生に参加してもらえるように、また、楽しんでもらえる企画になるように会合を重ねていきます。

【送別会 3月23日】

4年間 ICP でお世話になった、大学を卒業される先輩方の送別会を行いました。先輩方の影からのサポート、さらに良くしていきたいという熱い思いがあり、ICP が活動できていることを痛感しました。母国に帰国してしまった留学生からもメッセージ写真があり、感動の送別会になりました。

これからも、先輩方の思いを絶やさず、楽しく留学生と協力してさらに進化していく ICP にしていきます。





【ブラジル人留学生のオリエンテーション 3月27日】

4月から1年間本学に入学するブラジル人留学生23人のピックアップ、オリエンテーション、役所で手続きのサポートをしました。オリエンテーションではICP&SISAの紹介を行いました。さらに留学生が増え、楽しい活動になりそうです。オリエンテーションの後は、それぞれ居住する寮ごとに分かれて、役所に住所登録・国民健康保険の登録を行いました。

これからの日本での新生活、充実したものにして欲しいです。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

日本の将来を考えると、日本では少子高齢化が進み、衰弱していくという話が至る所で話題になっています。その中で今の若者一人一人の力を高め、国力をあげることが必要であると感じています。大学とICP、SISAの協力の中でよりグローバルな大学を目指し、芝浦から世界で戦える人材を育成し日本を活性化させ、子どもたちの世代が安心して暮らせる日本を作りたいと思っております。

昨年度から本学は文科省よりスーパーグローバル大学に採択され、より大学のグローバル化も推進される一年になります。また新年度からは新しい留学生が増えます。ICPも更に規模が大きくなるので、結束を固めつつもたくさんの人を巻き込み、「国際交流の楽しさ」だけでなく、何かを学び感じてもらえる企画を考えていきます。大学との連携をさらにとりつつ、学生らしく自由な発想でたくさんのごことに挑戦していきます。

近日予定されている、大学のグローバル化の大きな一歩となるグローバルデイに関わらせていただくことは、ICPにとっても重要な機会となります。私たちにかけていただいた期待に応えるよう頑張ります。